

平成23年4月
中津川市（岐阜県）

I. 平成22年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間;平成20年7月～平成25年3月(4年9月)

1. 概況

岐阜県中津川市の中心市街地活性化基本計画においては、市と商工会議所、商店街振興組合が同じ方向性・目的をもって協働で事業を推進していくことを基本に、中心市街地活性化協議会のメンバーを中心とした各事業別委員による事業部会を随時開催、毎週の事務局会議などで事業実施に努めています。

事業別には、市の行うハード事業は各担当課により実施されており、商工会議所や商店街が主で行うソフト事業についても、取り組みの進捗状況は概ね予定どおり、おのおの目標値達成に向かって邁進しています。特に、「中山道中津川宿六斎市」事業は、かつて江戸時代に行われていた「市」の復活として毎月第1日曜日に定例で開催し、商店街の活性化に大きな貢献をもたらしていて、実際に商店街への入込客を増加（平成21年度においても六斎市のみ年間入込客数89,000人）させているばかりでなく、おもてなし事業・個店強化事業・まちなか緑化事業などを組み合わせて行っており、商店街の関係者の「やるき・本気・元気！」の向上につながっています。

今年度は、経済産業省の「平成22年度市町村の中心市街地活性化の取組に対する診断・助言事業」を受け、年間を通して関係者や一般市民とのワークショップや意見交換会を開催したことにより、中間年度として、新たな視点で中心市街地活性化の意義や目的を再認識でき、これからの取り組みに対する専門家の助言もいただいたので、今後も引き続き関係者との連携を図りながら、地域全体としての魅力の向上のための景観や市街地の形成などを行い、多くの来訪者を迎え入れ、にぎわいとおもてなしの心で魅力ある商店街を形成することで中心市街地の活性化を図り「愛され、選ばれる中津川市」を目指します。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
自らが誇れるまちの創出	観光客入込数	324,300 人 (H18)	360,000 人	392,300 人	①	①
快適に暮らすことのできる 市街地の形成	中心市街地 居住人口	3,310 人 (H19)	3,400 人	3,167 人	④	④
商業活性化の推進	中心市街地 歩行者数	4,056 人 (H19)	4,630 人	4,329 人	①	①
	商店街店舗数	130 店舗 (H19)	135 店舗	128 店舗	③	③

- 注) ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

- ・「観光客入り込み数」については、認定前より行ってきた各種イベント事業への入込客と、「中山道中津川宿六斎市」の開催で大幅な増加となり、目標は達成していますが、今後も継続して開催していき、マンネリ化しないように方法や企画内容を検討して更なる増加を目指します。また、旧中津川村庄屋肥田家を一部ではあるものの一般公開してきましたが、平成22年には、継続的な公開が困難になり、本格的な改修や公開は難しい状況となっており、今後の協議が必要です。また、「イルミネーション IN 中津川」を装飾範囲や開催期間を拡大しながら実施してきており、新たな来訪者を獲得しています。
- ・「居住人口」については、旧ユニー跡地開発事業の計画(共同住宅を含む複合ビル整備計画)が平成21年度に中止となり、新図書館建設事業に変更になったことにより当初の計画の居住人口の増加は見込めなくなりました。今年度民間の事業者により、これからの予定についてヒアリングを行いました。起工案件がなく、事業を立ち上げる見込みはたっていないため、目標達成は見込まれません。居住人口減少については中心市街地だけの問題ではないので、中津川市全体として新規の事業を検討していく必要があると考えます。
- ・「歩行者数」については、平成22年度の数値は、平成21年度より減少してしまいましたが、調査日が雨天であったことが原因であると思われます。しかし、平成20年度まで減少し続けていた歩行者数と比較すると増加傾向であり、新図書館建設事業等引き続き各事業に取り組むことで、目標達成は可能と見込まれます。
- ・「商業店舗数」については、平成21年度(平成22年3月調査)には、減少し続けた商業店舗数は、前年度数値より1店舗増加して、商業店舗数は下げ止まりました。引き続きソフト事業等に重点を置いて「おもてなしの心」で地域として取り組み、また新たな事業展開によって商店街の魅力を向上させることにより、目標達成は可能であると見込まれるので、各事業の推進を強化していきます。

4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

・なし

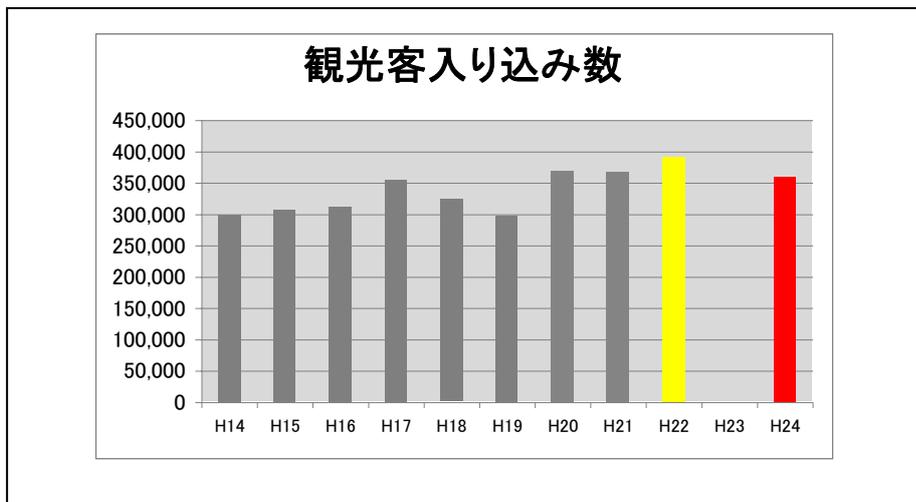
5. 今後の対策

- ・事業については、中津川市中心市街地活性化基本計画の中心となる「旧ユニー跡地開発事業」の新図書館が街中に整備されることにより、街に人を呼び込み、商店街への波及効果も大きく、にぎわいを呼び戻すと考えられます。
- ・今後、目標値に対して事業実施が不十分と思われる部分については、担当部局及び関係団体と検討し「新規事業」の構築に向けて取り組み、基本計画当初の目標数値に向けて事業の実行に努めます。
- ・昨今の急激な経済情勢不況の中「円高」が加わり、中津川市でも大変厳しい状況下ではありますが、中津川市中心市街地活性化基本計画の取り組みを地道に展開していくことで、中心市街地内の事業者はもちろん、中心市街地外の周辺地域の方からの賛同者も増加しつつありますので、今後も身の丈にあった事業の推進に向けて努力を続けて官民協働で事業を展開していき、中津川市の顔である中心市街地を活性化させ、「平成の中山道中津川宿の創造」を目指します。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果「自らが誇れるまちの創出」

「観光客入り込み数」※目標設定の考え方基本計画 P44～P46 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位: 人)
H18	324,300 (基準年値)
H19	297,600
H20	369,300
H21	368,300
H22	392,300
HO	
H24	360,000 (標値)

※調査方法；中心市街地内の公開施設及び各イベント等への入り込み客数の年間合計数

※調査月；毎年3月末

※調査主体；中津川市

※調査対象；「春・秋の中山道まつり」・「イルミネーションIN中津川」・「春・秋のJRさわやかウォーキング」
 ・「ウインドギャラリー展」・「おいでん祭」・「ギオンバジランボリー」・「西宮神社例祭、十日えびす」
 ・「中山道歴史資料館」・「旧脇本陣森家」・「旧中津川村庄屋肥田家」・「中山道中津川宿六斎市」

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. イルミネーションIN中津川（ウィンターフェスティバル実行委員会）

事業完了時期	【実施中】平成17年度～
事業概要	中心市街地内の公園をメイン会場に、11月から1月まで中心市街地を約7万個のイルミネーションで飾るイベントである。また開催期間中に駅前広場でクリスマスライブを開催するなど市民参加型のイベントとして開催している。
事業効果又は進捗状況	平成21年から駅前広場へも装飾の範囲を広げ、また、平成22年から開催期間を延長したことにより、市内外からの来場者が増加しており、22年度は約16,000人の来場があった。また開催期間中に駅前広場で開催しているクリスマスライブも定着してきており、来場者数の増加に繋がっている。

②. 旧中津川村庄屋肥田家保存公開事業（中津川市）

事業完了時期	【未】平成23年度
事業概要	旧中津川村庄屋肥田家を一般に公開することを計画する。
事業効果又は進捗状況	中山道中津川宿における肥田家は歴史的・文化的に最も価値の高い建築物なので地権者との話し合いの結果、一部公開が可能となり、平成21年度まで観光客を集客することができた。しかし、平成22年度は、所有者(地権者)の事情により継続的な公開は困難となり、さらに本格的な改修や全面公開は難しい状況となっており、今後も協議していく必要がある。

③. 中山道中津川宿六斎市事業（六斎市実行委員会）

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	復刻盤「六斎市」として、中心市街地内にて地産地消の「おはよう朝市」や中心市街地外からの出店者による物産展と各商店での特売やタイムサービスなど、イベントや郷土芸能披露などを交えて、毎月第1日曜日の1回を定例「市」として開催している。
事業効果又は進捗状況	この「市」六斎市には毎月市内外より、1万人程度の来訪者があり、平成21年度の六斎市の実績として、約9万人の集客があった。また、各種ソフト事業との組み合わせによる相乗効果も高く、今後も継続してこの「市」を広く市民に定着させ、中心市街地への来訪者を増加させ、にぎわいの創出を図る。

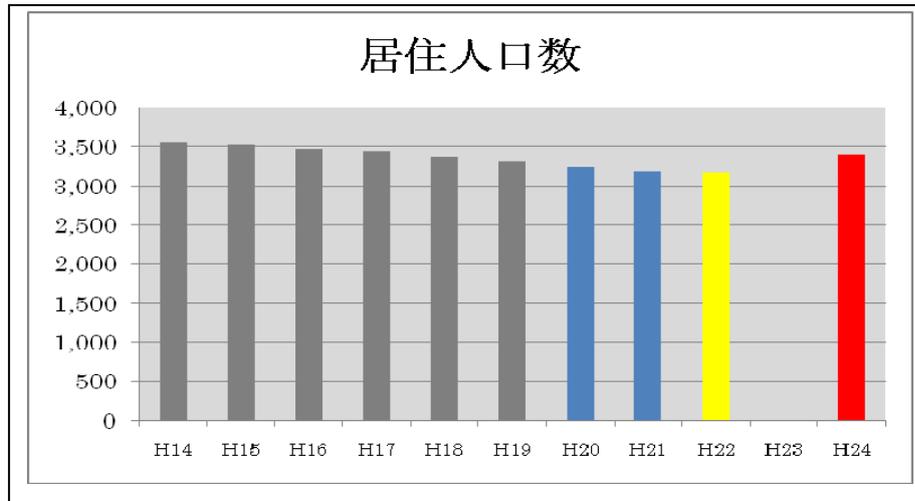
3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・「観光客入り込み数」の数値については、「六斎市」の継続開催等の影響で目標値を達成している。引き続き一過性のものにならないように継続が重要であり、すべての事業に対してマンネリ化しないように開催の方法や企画内容を検討して更なる交流人口の増加を図り、中心市街地の活性化を目指す。
- ・「イルミネーション IN 中津川」は平成17年から開催しているが、平成21年度以降、電飾の工夫や範囲の拡大、クリスマスライブコンサートの開催など、年々新しい企画を盛り込みつつあり、新たな誘客を図っている。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果「快適に暮らすことのできる市街地の形成」

「居住人口数」※目標設定の考え方基本計画 P47～P48 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位：人)
H19	3,310 (基準年値)
H20	3,270
H21	3,189
H22	3,167
HO	
HO	
H24	3,400 (目標値)

※調査方法；

※調査月；毎年4月1日

※調査主体；中津川市

※調査対象；住民基本台帳による中心市街地区域内の人口数

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 中心市街地共同住宅供給事業（中津川市）

事業完了時期	【未】平成21年度～平成24年度
事業概要	民間事業者が共同住宅を建設する場合に支援を行う制度を創設し運用する。
事業効果又は進捗状況	民間事業者が共同住宅を中心市街地に供給することにより、人口の増加と歩行者数の増加、さらには、その居住者による中心市街地での購買行動の増加が期待される。 しかし、当初計画されていた民間事業者による共同住宅を含む複合ビル建設事業が中止になったうえ、さらに追い打ちをかけるような経済情勢の悪化は市の財政状況にも影響し、支援制度の創設ができない状況にある。

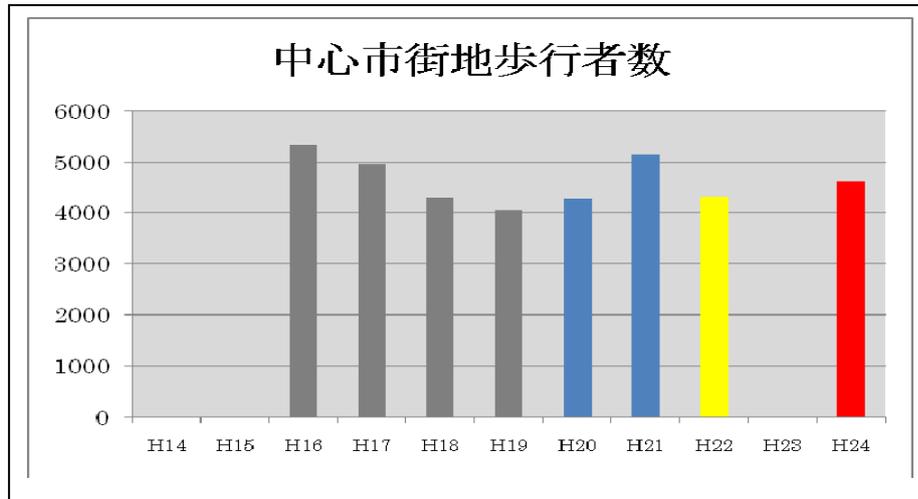
3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・当初の計画であった複合ビルの建設が中止となったため、当市における共同住宅供給事業の制度創設を見合わせている。
- ・民間の活力も含めて現在検討中だが、昨今の経済情勢の悪化により、この事業についての目標達成は困難を極めている。
- ・この目標値に対する事業については、新たな施策を構築する必要があるが、人口減少は中心市街地だけの問題ではないので、中津川市全体として、新規の事業を検討していく。

II. 目標毎のフォローアップ結果「商業活性化の推進」

「中心市街地歩行者数」※目標設定の考え方基本計画 P48～P51 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位：人)
H19	4,056 (基準年値)
H20	4,273
H21	5,137
H22	4,329
HO	
HO	
H24	4,630 (目標値)

※調査方法；実質測定値

※調査月；毎年9月末（平日）

※調査主体；中津川市

※調査対象；中心市街地内指定の5ヶ所での歩行者数

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 市営駐車場改修事業（中津川市）

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	建設後30年の自走式駐車場を、耐震補強やリニューアルを実施する。
事業効果又は進捗状況	平成21年3月にリニューアルを完了し、利用しやすい駐車場となり、月平均で比較すると、改修前より今年度の実績で1千件以上の利用者の増加を示しているため、中心市街地への来訪者の増加に寄与していると考ええる。

②. 旧ユニー跡地開発事業（新図書館建設事業）（中津川市）

事業完了時期	【実施中】平成21年度から平成24年度
事業概要	学習支援機能の充実による滞在型の図書館を整備する
事業効果又は進捗状況	新図書館を中山道街道筋に整備することにより、利用者の増大が見込まれ、周辺商店街や施設との回遊性をより高めることが可能となり、新しい「まちの顔」として中心市街地のにぎわい創出を図る。 今年度は、4月から「新図書館建設対策室」を設置、7月に新図書館建設市民協議会より「新しい図書館への提言」が提出され、9月に新図書館建築設計プロポーザルにて設計業者が決定、10月には「新図書館準備室」として組織改革し、基本設計を作成、実施設計に取りかかっている。

③. 「にぎわいプラザ」利活用促進事業（中津川市）

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	駅前に立地する「にぎわいプラザ」を、街中の回遊性を向上させるための拠点とすることで、より多くの市民や観光客への利用促進を図る。

事業効果又は進捗状況

「中津川市にぎわいプラザにぎわいUP検討委員会」を毎月開催し、各階ごとの活用について検討、今年度は6階に「コミュニティオフィス」を新しく設置し、4階の行政スペース及び5階のコミュニティホール活用について検討した。
今後は、他の階の活用についても見直しを行なうことにより来訪者を増加させ、中心市街地の活性化を図る。

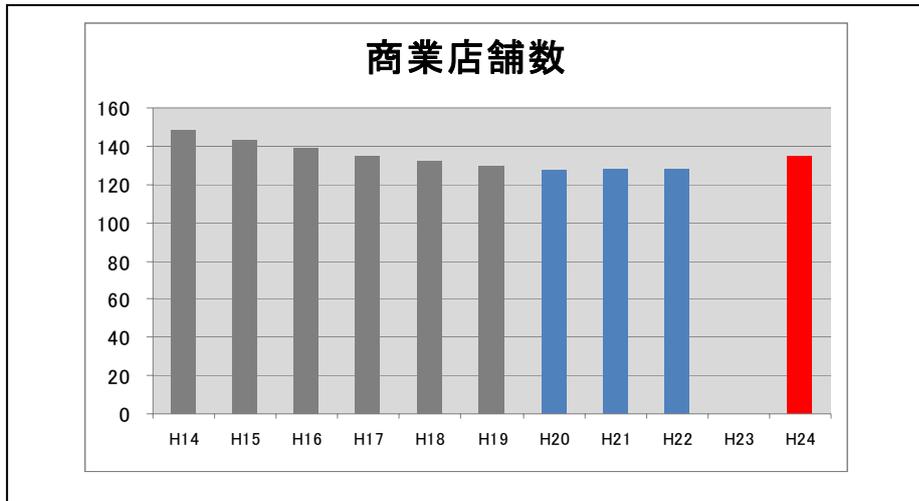
3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・中津川市の街中に立地する市営駐車場を平成21年度にリニューアルし、利用料金を最初の2時間無料として商店街利用者の利便を図っているほか、商店街を中心として「花かざり運動」・「おもてなし運動」・「一店逸品フェア」などの実施による効果が表れ、商店街への歩行者が徐々に増加しており、目標達成は可能であると見込まれる。
- ・今後もこれらの事業の展開に対して努力を重ね、中心市街地ににぎわいの創出を図っていく。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果「商業活性化の推進」

「商業店舗数」※目標設定の考え方基本計画 P51～P53 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位：店)
H19	130 (基準年値)
H20	127
H21	128
H22	128
HO	
HO	
H24	135 (目標値)

※調査方法； 中心市街地内の 4 振興組合と 4 発展会より調査書の提出

※調査月； 毎年 3 月末

※調査主体； 中津川市・中津川商工会議所

※調査対象； 中心市街地内の 4 振興組合と 4 発展会の商業店舗数

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗対策事業（中津川商工会議所・中津川市商業振興連盟）

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	商店街にある空き店舗情報を一元管理し、ホームページ等で外部に対しPRするとともに、各商店街の空き店舗における商店街のコンセプトにマッチした事業者の募集、若者等のチャレンジショップに対する店舗改修・店舗賃借料等の支援により、商店の誘致を図る。
事業効果又は進捗状況	平成22年度に、商店街での空き店舗を再調査し、不動産会社とも一部連携を行い、インターネットにて一般公開できるように現在準備を行っている。 平成21年度より引き続き「六斎市」の開催時に、西太田町の空き家を利用して中心市街地外に呼び掛け、アンテナショップ的な体験出店も8回程行った。 「きっかけづくり」として、新しい商店等の増加を図る。

②. 流通ポイント事業（中津川市商業協同組合）

事業完了時期	【未】平成22年度
事業概要	中津川市共通商品券と商品購入等に添付するポイント制度を融合し、ボランティア活動や公共施設の利用料金等におけるポイントの付与や支払い等を検討し、商店街での積極的な活用を構築する。
事業効果又は進捗状況	中心市街地における各商店街での購買活動が活発となり、商店街のにぎわいが再生し、販売額が増加することから、商店数の増加を図ることができる事業として計画案を提示したが、昨今のポイント制度の運営問題や地域性、区域、予算等の関係で商店者から難色を示されてしまい、事業が構築できていない。

今後は、他市のポイント制度の情勢等を見極めて、再度検討していく。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・「商業店舗数」については、昨年も全体の商店数は1件増加したので、これから新図書館を建設することで「新図書館」と「にぎわいプラザ」と「中央公民館」との三拠点での回遊性を図り、中心市街地内への来訪者を増加させる新しい事業内容も検討することにより商店街の魅力を向上し、なおかつ空き店舗対策や個店強化事業により商業店舗数の増加を図ることにより、目標達成が見込まれる。
- ・「流通ポイント事業」については、現在中部経済産業局にも相談して指導や情報をいただいているので、昨今のポイント制度や商品券事業の情勢を見極めたうえでの事業展開を考えていきたい。